

令和7年度お米・ごはん推進フォーラムの開催

阪神・淡路大震災の経験を契機に始まった「おいしいごはんを食べよう県民運動」の取組として、「お米・ごはん」を中心とした健康的な日本型食生活を推進するとともに、食や農業の大切さを広く県民にPRするため、「お米・ごはん推進フォーラム」を開催します。

1. 日時 : 令和8年2月14日(土)13:30～15:30【参加無料、事前申込制】

2. 場所 : 兵庫県公館 大会議室(神戸市中央区下山手通4丁目4番1号)

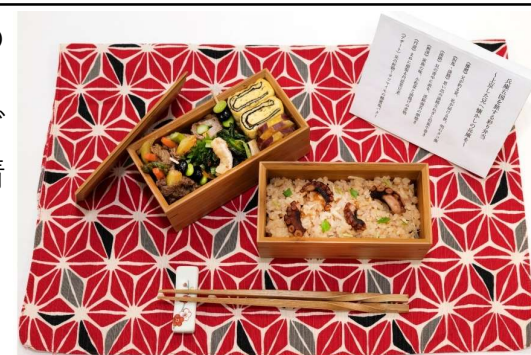
3. 主な内容



【申込フォーム】

(1) 令和7年度(第28回)お弁当・おむすびコンテスト表彰式(応募総数10,568点(お弁当4,169点おむすび6,399点))

区分	受賞者・作品名	作品概要
お弁当 コンテスト 知事賞 (最優秀賞)	神戸常盤女子高等学校 吉原椿(よしはらつばき)さん 「兵庫五国を旅する彩り 弁当～上京した兄へ、懐 しの兵庫を～」	地元兵庫を感じられるように、兵庫五国それぞれの食材を取り入れたお弁当。兄の健康と栄養を考え、また、食べる時に幸せを感じてもらえるように、ごはんやおかずの形や盛りつけ、彩りで表現する愛情が詰まった作品。 【作品を再現したお弁当を大丸神戸店の淡路屋で2/20(金)～23(月)に数量限定で販売予定】
おむすび コンテスト 知事賞 (最優秀賞)	加東市立社学園中学校 邑上碧(むらかみあおい)さん 「わが家のお米×地元食 材を使った創作おにぎ り」	兵庫県産の食材を勉強して、志方牛、淡路島産ちりめんじゃこ、明石だこ、播磨灘産穴子、香住ガニの県産食材を使用した5種類の創作おむすび。暑い中一生懸命お米を育ててくださった祖父母への感謝と愛情のこもった作品。 【作品を再現したおむすびをフォーラム会場で数量限定(先着100名)で参加者に配付(2個)予定】



(2)講演会

米作りの現状や、生産者の思いを知ること、私たちが日々口にする「お米」の価値を改めて見つめ直す機会として、生産者による講演会を開催。

テーマ 「生産者と消費者をつなぐ～お米の魅力、価値を見つめなおす～」

出演者

田渕 真也（たぶち しんや）氏

（株）丹波たぶち農場 代表取締役

丹波篠山市で約85haを耕作し、米、黒大豆などを生産。生産・流通・小売を分断せず、自ら関与する経営を行っている。

2008年からはいちご狩り・黒豆狩りなど観光農業にも取り組み、農業を「産業」として成立させる仕組みづくりを実践。収益性と地域農地・環境の維持を両立させる経営を追求している。



飯塚 祐樹（いづか ゆうき）氏

ファームハウス代表

姫路市の農地約30haで主食用米の他、酒米、露地野菜などを生産。市内の壺坂酒造と共に、一般の方と一緒に酒米栽培から瓶詰までを行う「播磨日本酒プロジェクト」を展開。24歳の時の入院生活で、健康の大切さを実感したことをきっかけに農業の道へ。「本当に安心できる主食、体づくりの農業」を目指している。



小池 潤（こいけ じゅん）氏

（株）小池農園こめハウス 代表取締役

神戸市西区で約40haの農地で、米を中心に、大豆、野菜などを生産。「食べることの大切さを知ってもらいたい」との思いから、神戸市学校給食会の食育活動への取り組みや、農家と都市住民を繋ぐ、

『Kobe Foo Style』を立ち上げ、CSAを目指す。企業向けの福利厚生事業『FARMmeeting』では、農地利用型サービスの提供を手掛ける。



（主 催） おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会、兵庫県米穀事業協同組合、兵庫県

（後 援） 農林水産省近畿農政局、株式会社神戸新聞社、兵庫県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、公益社団法人兵庫県栄養士会、公益社団法人栄養医学協会、兵庫県教育委員会、Kiss FM KOBE